

よこはまユースレター

発行/公益財団法人よこはまユース
 tel.045-662-3716 fax.045-662-7645
 URL <https://yokohama-youth.jp/>
 Eメール soumu@yokohama-youth.jp

2023年度子ども・若者エンパワメントセミナー報告

知っておきたい LGBTQ~自分らしく生きる~

2023年度の子ども・若者エンパワメントセミナーは「LGBTQ」をテーマに、一般社団法人日本LGBT協会代表理事の清水展人（しみずひろと）さんにご講演いただきました。本号では清水さんが話された「大人の『当たり前』を変えていくこと」や「自分らしく生きること」の大切さについてご紹介します。（2023年12月8日/関内ホール小ホール）

性の多様性

私たちの性は男と女で単純に分けられるものではなく、グラデーションがあります。人の「性的指向」（恋愛感情や性的関心などの性別に向いているか）や「性自認」（自分がどの性別であると認識しているか）は外から見てもなかなか分かりませんが、LGBTQに該当する人は左利きの人や血液型がAB型の人と同じくらいの割合であるとも言われているので、例え気づかなくても自分の周りにもいるのだという意識をみんなが持つておくことが重要です。周囲の目を気にして自分から言い出すことができず、生きづらさを抱えている人も多いので、そういう人達にとっては社会の理解が進んで環境が整えば、学校に通いやすくなったり少し気持ちが楽になったりします。

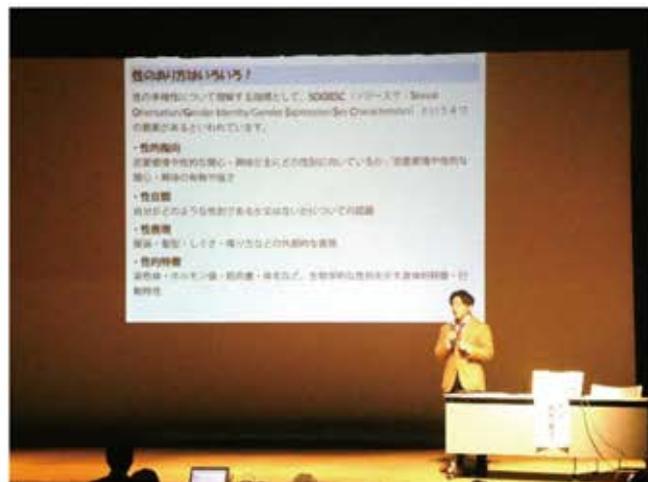
大人の「当たり前」を変えていく

「大人は最大の、子どもたちにとっての教育環境である」という言葉があります。大人にとって普通や当たり前だと思っていることが自然と無意識に口や態度に出ることで、それが普通になって社会の制度や環境が作られていきます。ですから大人の普通や当たり前を社会の変化に合わせて更新していくことが大切です。

自分らしく生きる

私は幼い頃から自分の心と体の性が一致していないと感じていました。周囲の目を気にして本当の自分に蓋をし、無理に女性らしく振舞ったこともありましたが、自分で自分を否定しているようで苦しかったです。しかし様々な学びや信頼できる友人を得て、やはりありのままの自分らしく生きていきたいと思うようになりました。

手術や戸籍変更によって心と体の性の不一致を解消できたとしても、社会の理解が進まなければ生きづらさは変わりません。誰もが自分を大切に、自分らしく生きていけるように、大人も子どもも、ぜひLGBTQのことをもっと知ってください。



参加者からは「違和感を持ちながら生きていく辛さが伝わってきた」「自分からももっと子どもたちに発信していきたい」などの感想が寄せられました。この講演の要旨は『YOKOHAMA EYE'S 2023』に掲載します。

◇エンパワメントセミナーについてのお問合せ先
 TEL : 045-662-4170 (事業課)

◆◆◆ 賛助会員・寄附金のご案内 ◆◆◆

●会員として支える（賛助会費）

- ・個人 1口 3,000円×希望口数
- ・団体 1口 5,000円×希望口数

●ヨコハマの青少年活動へ寄附する

- ・個人 1口 1,000円×希望口数

*社会参加活動などの青少年の体験プログラム活動に寄附金を活用させていただきます

*詳細はQRコードからご覧ください

◇お問合せ先…045-662-3716 (総務課)



活動レポート

青少年交流・活動支援スペース さくらリビング

ホットドッグを販売しました！『子どもフェスティバル』
(1月28日)

神奈川県立青少年センターで開催された『子どもフェスティバル』に、青少年委員が『さくりにキッチン』を出店しました。年末から試作を始め、利用する青少年に食べてもらって、アドバイスをもらいながら具材や手順を練り直し…、時間をかけて準備を進めました。当日は想像していた以上に忙しく、丁寧に準備をしたつもりでも「あれが足りない!」「これを忘れてた!」と慌てた場面もありました。最後の1個をお客さまに渡したときには、青少年委員たちは少しほっとした様子で喜んでいました。

後日のふりかえりでは、「多くのお客さんが来てくれて整理券が足りなくなったり、提供が遅れてしまったりと想定が甘い部分もあったけれど、みんなで相談して乗り越えられた」「今回の反省を来年度に生かせば、もっと良いものができると思う」と前向きな意見が聞けました。



放課後キッズクラブ

明るく元気にバスケ!『ビーコルセアーズと遊ぼう!』
(2月22日)

日吉南小キッズでは、横浜のプロバスケットボールチーム『ビーコルセアーズ』のコーチを招いてボール遊びのイベントを実施しました。まずはウォーミングアップ。ボールを上げている間に何回手を叩けるかから始まり、指一本でドリブルをする練習。次は、二人組で向かい合い、コーチが「頭!」と言ったら手を頭に、「腰!」なら腰に、「ボール!」なら先にボールを取れた方の勝ち!少しずつ難易度が上がり、「頭!」と言ったらボールにタッチ、「ボール!」と言ったら頭にタッチ!速いテンポに「ああ、違う違う、頭だった~!」と慌てる子どもたち。

ミニゲームをたくさんすることで、バスケットボールの経験がある子どももそうでない子どもと一緒に楽しく遊ぶことができました。始めに円陣を組んだときに遠慮がちだった掛け声も、終わりには大きく元気で明るい声になっていました。



横浜市青少年育成センター

良い声・子どもたちの心を掴む!『Voice トレーニング』
(11月20日・12月4日)

日頃から子どもたちの前で話す機会が多い青少年活動者を対象に『ボイストレーニング』の先生をお迎えして、相手に届く声の出し方を学びました。「声は大きいほうだが通らない…」「ハッキリ伝えようとすると力が入ってしまう…」など、一人ひとりの悩みに丁寧に寄り添うレッスンができました。

参加者からは「他にはないプログラムで想像以上の楽しさでした!」「1時間半で自分が変わった気がした、コンプレックスに希望が持てた」「すぐ実践できるコツを教えてもらえた」などと嬉しい感想をいただきました。みなさんの現場で、子どもたちとの関係がより良くなる一つの手段となるよう期待しています。



横浜市野島青少年研修センター

のじまオープンデー『のじま de もちつき』を開催!
(2月25日)

のじまオープンデーは、研修センターへの理解と協力関係を地域へ広げていくことを目的とした事業です。毎年、近隣の町内会や地域団体と協働してイベントを実施しています。

今回は野島町内会と青少年ボランティアの協力で『もちつき大会』を実施しました。当日はあいにくの雨でしたが予定どおりに開催し、最後は全員でつくたてのお餅と熱々の豚汁を食べながら交流を深めました。また、青少年ボランティアと野島町内会の皆さんが、作業をとおして和気あいあいと触れ合う姿がとても印象的でした。ご協力いただいた皆さんにとって有意義な時間になったようです。



Thank you for your support.

ありがとうございました!

●寄附金協力者(順不同、敬称略)

【団体名】横浜市立井土ヶ谷小学校PTA/神奈川県野球連盟/柴町内会/第一カーボン株式会社(有)/武牛乳店/ブックオフコーポレーション(株)/社会福祉法人横浜共生会
三ツ境幼稚園/横浜市子ども会連絡協議会

【個人名】青山幸一/飯塚道子/大塚善一朗/岩崎幹夫/榎本文夫/大槻恵津子/大向哲夫/片岡喜久江/金子剛士/川本正秀/久保田隼/雲井耀一/清水桂子/下野坊和子/須藤守之
須藤建三/松本啓聖江/武久美子/竹野内宏/中村一雄/中村剛次/沼尾実/野並直文/橋本康正/濱倉公子/古澤竜夫/三橋ソネ/若木一美

2023年12月1日から2024年2月29日までの寄附金

◆ユース賛助会費 39件 170,000円

◆一般寄附金 12件 47,412円



絵心は全くありませんが、美術館巡りが趣味の一つです。そんな私の一番のお勤めは鳴門にある大塚国際美術館。「モナリザ」「最後の晩餐」「ひまわり」等々、世界中の名画1,000点以上が陶板で再現され展示されています。本物とレプリカとの違いが判らない私には、これ以上ない最高の贅沢で、1日いても飽きません。(まっきー)